

地域福祉に関する アンケート調査結果 概要

(市民対象分)

1 調査対象

- ◇ 住民基本台帳に登録されている18歳以上の方2,000人

2 調査方法

- ◇ 郵送による配布・回収

3 調査実施

- ◇ 配布日 令和5年6月15日 回収期限 令和5年6月30日

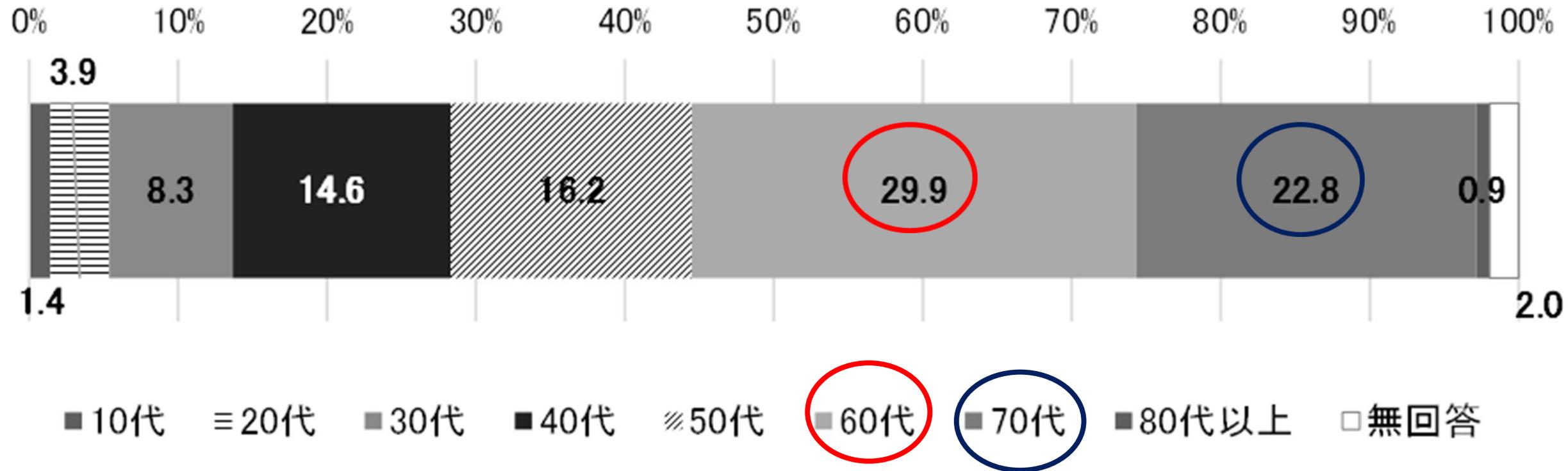
4 回収結果

- ◇ 配布数 2,000人
- ◇ 回収数 767人
- ◇ 回収率 38.4%

5 調査内容（大項目）

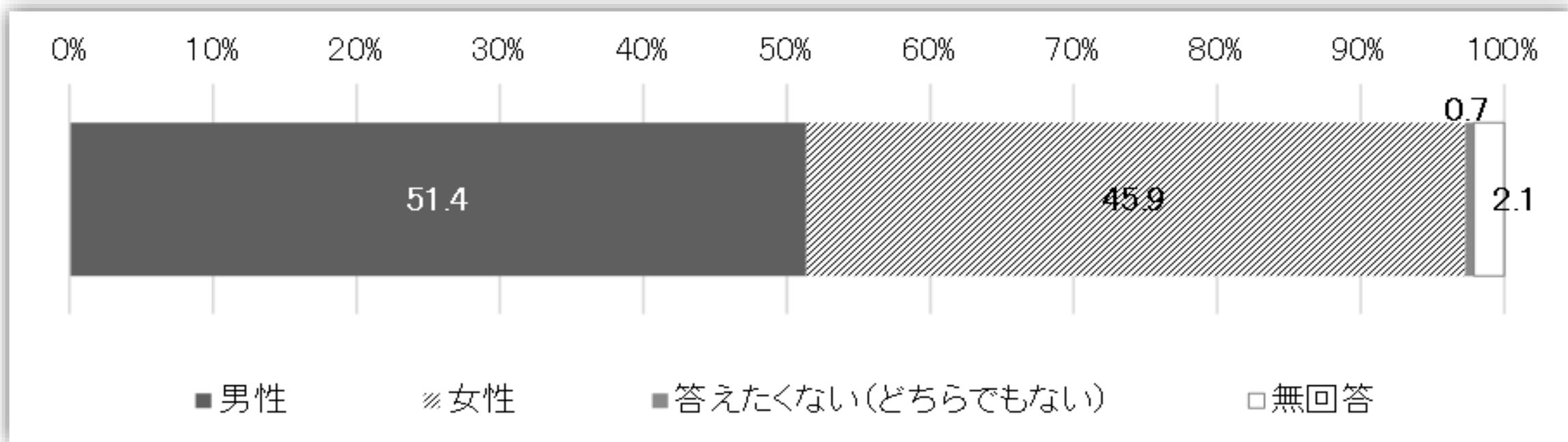
- 1 あなた自身について
- 2 地域での日常生活について
- 3 ボランティア活動等への参加について
- 4 福祉サービス全般について
- 5 「ひきこもり」について
- 6 災害時の対応及び避難行動要支援者支援制度について
- 7 成年後見制度について
- 8 再犯防止の取り組みについて

問 1 令和5年5月1日現在のあなたの年齢をお答えください。

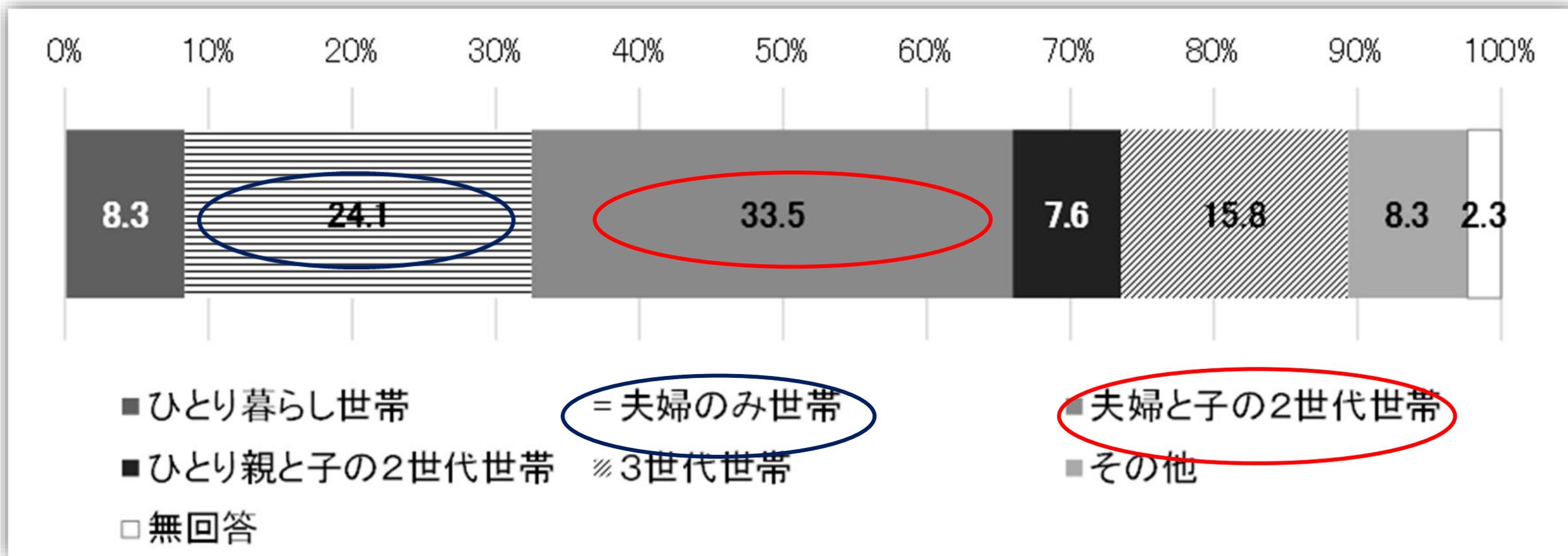


● 「60代」が29.9%で最も高く、次いで「70代」(22.8%)となっており、60~70代で全体の過半数を占めている。

問2 あなたの性別をお答えください。



問3 あなたの現在の世帯状況をお答えください。

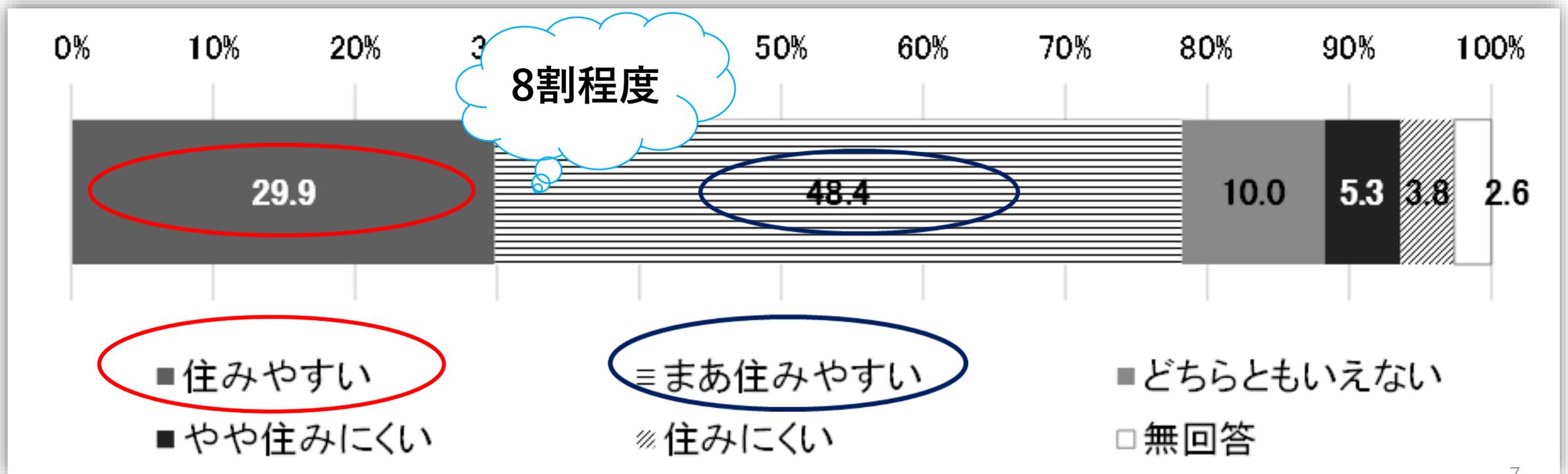


- 夫婦と子の2世代世帯が33.5%で最も高く、次いで夫婦のみ世帯(24.1%)となっている。
- 世帯状況及び居住地区のクロス集計でみると、特に旧市内におけるひとり暮らし世帯の割合(53.1%)が高くなっている。

2 地域での日常生活について、おうかがいします。

問6 あなたが、いま住んでいる地域は住みやすいと感じますか。(1つだけに○)

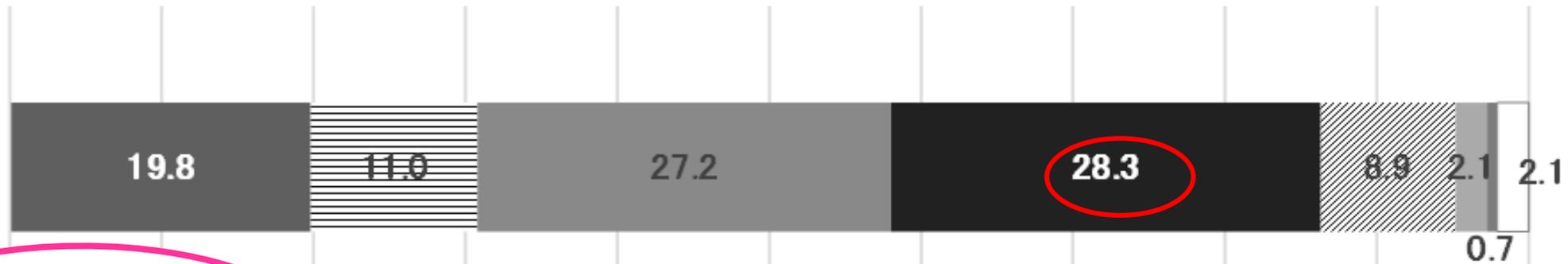
- | | | |
|-----------|-----------|-------------|
| 1 住みやすい | 2 まあ住みやすい | 3 どちらともいえない |
| 4 やや住みにくい | 5 住みにくい | |



問7 あなたは、ご近所の方とどの程度の付き合いがありますか。(1つだけに○)

- | | | | |
|---|--------------------------|---|-------------|
| 1 | なにか困ったときに助け合えるような親しい人がいる | 3 | 立ち話のできる人がいる |
| 2 | お互いに訪問し合う人がいる | 5 | ほとんど付き合いがない |
| 4 | あいさつを交わす程度の人がある | 7 | わからない |
| 6 | 近所にどんな人が住んでいるかわからない | | |

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



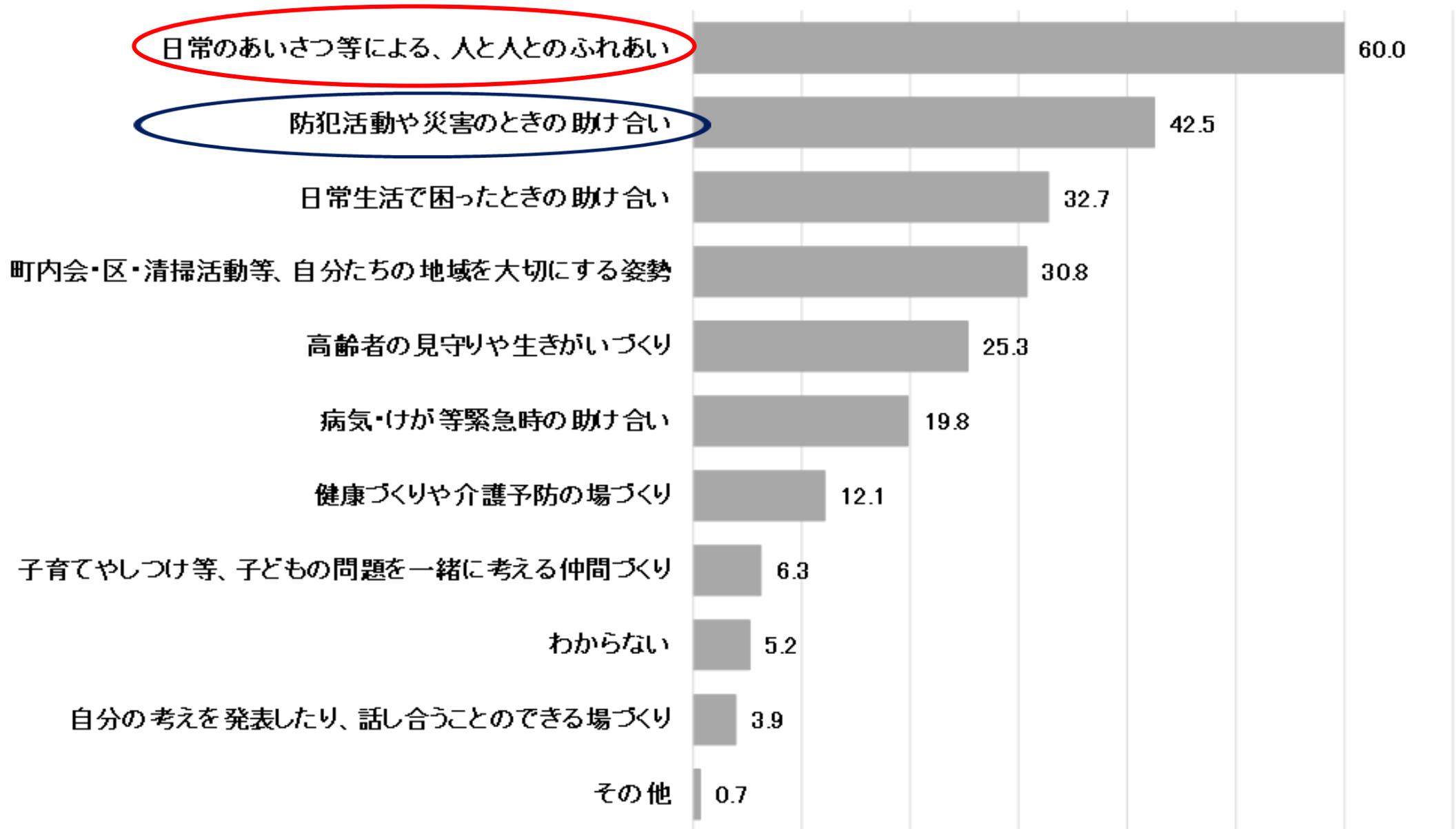
浜田 41.2%
長沼 31.4%

- なにか困ったときに助け合えるような親しい人がいる
- ≡ お互いに訪問し合う人がいる
- 立ち話のできる人がいる
- あいさつを交わす程度の人がある
- /// ほとんど付き合いがない
- 近所にどんな人が住んでいるかわからない
- わからない
- 無回答

仁井田 36.2%
稲田 35.9%

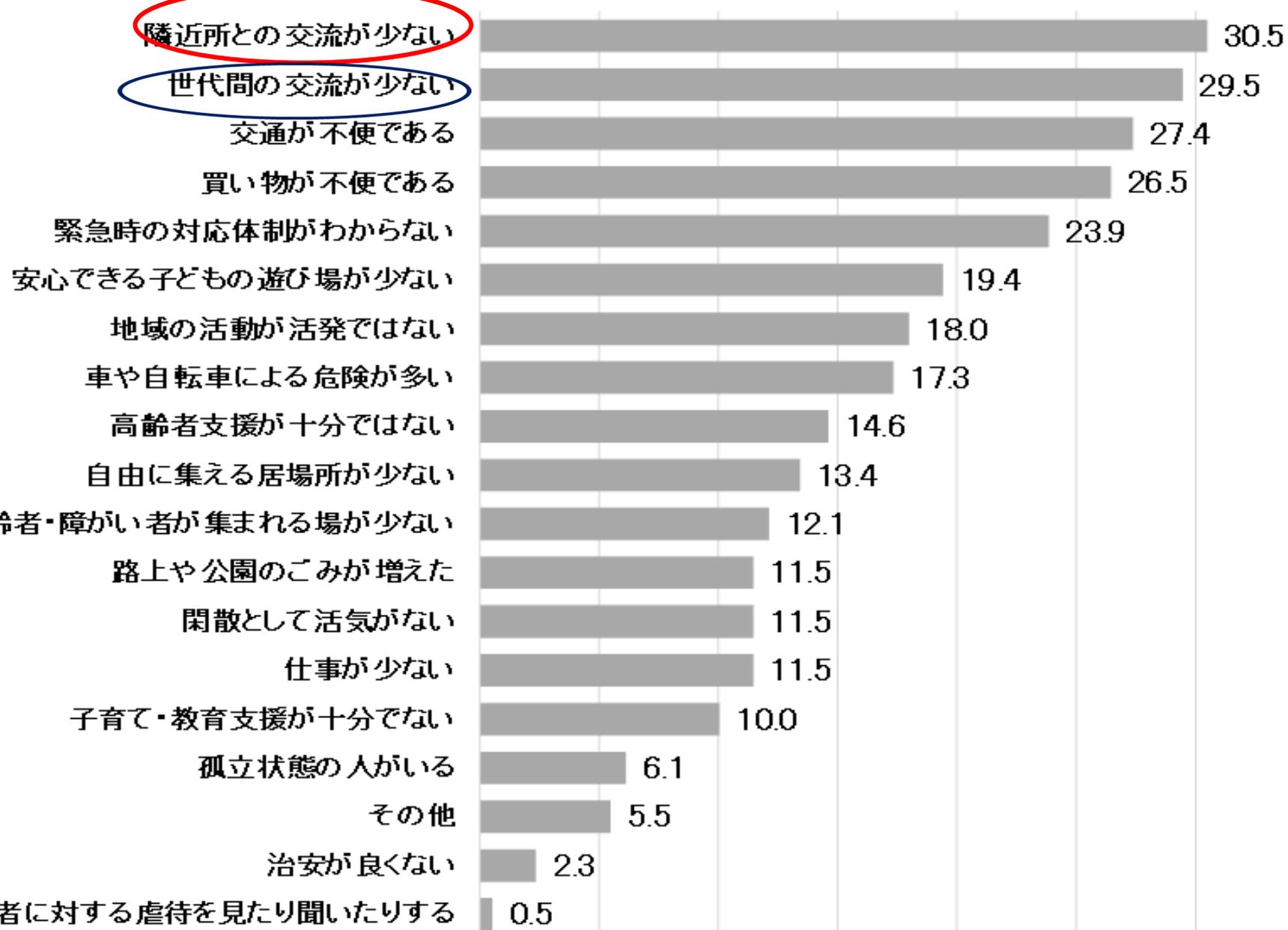
問9 あなたは、ご近所との付き合いや関わりで、これからはどんなことが大切になると思いますか。

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70%



問10 現在、あなたの住んでいる地域にはどのような問題や課題があると感じていますか。

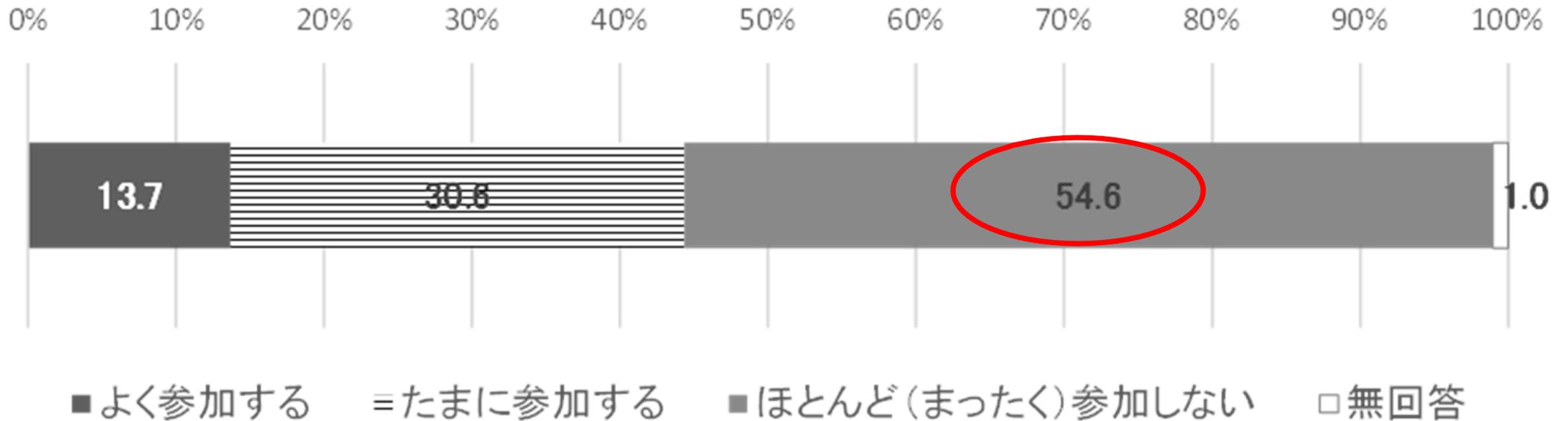
0% 5% 10% 15% 20% 25% 30% 35%



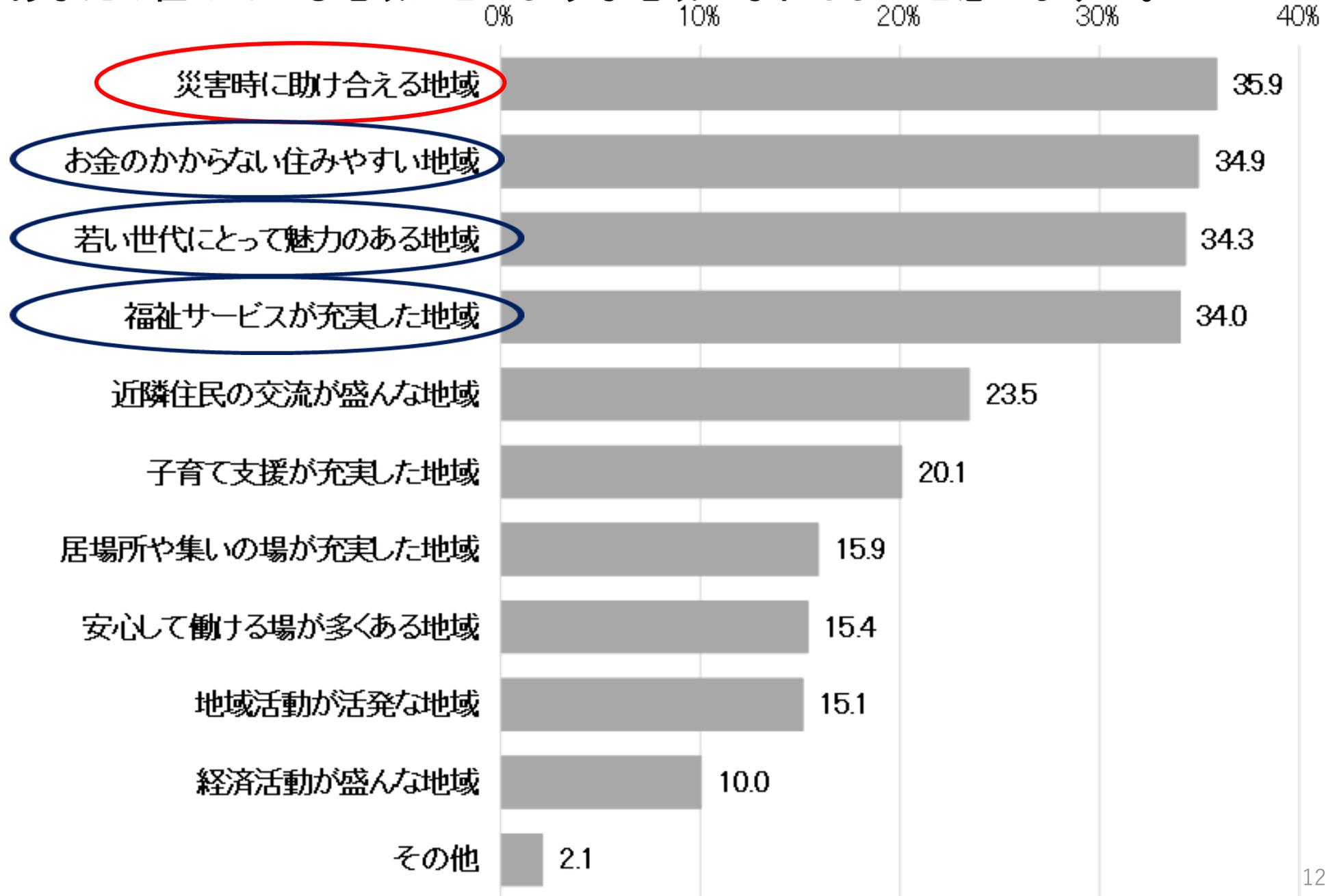
子どもや高齢者、障がい者に対する虐待を見たり聞いたりする

問 12 あなたは、地区の催しや行事（コミュニティセンター（公民館）活動等）に参加していますか。（1つだけに○）

- 1 よく参加する 2 たまに参加する 3 ほとんど（まったく）参加しない



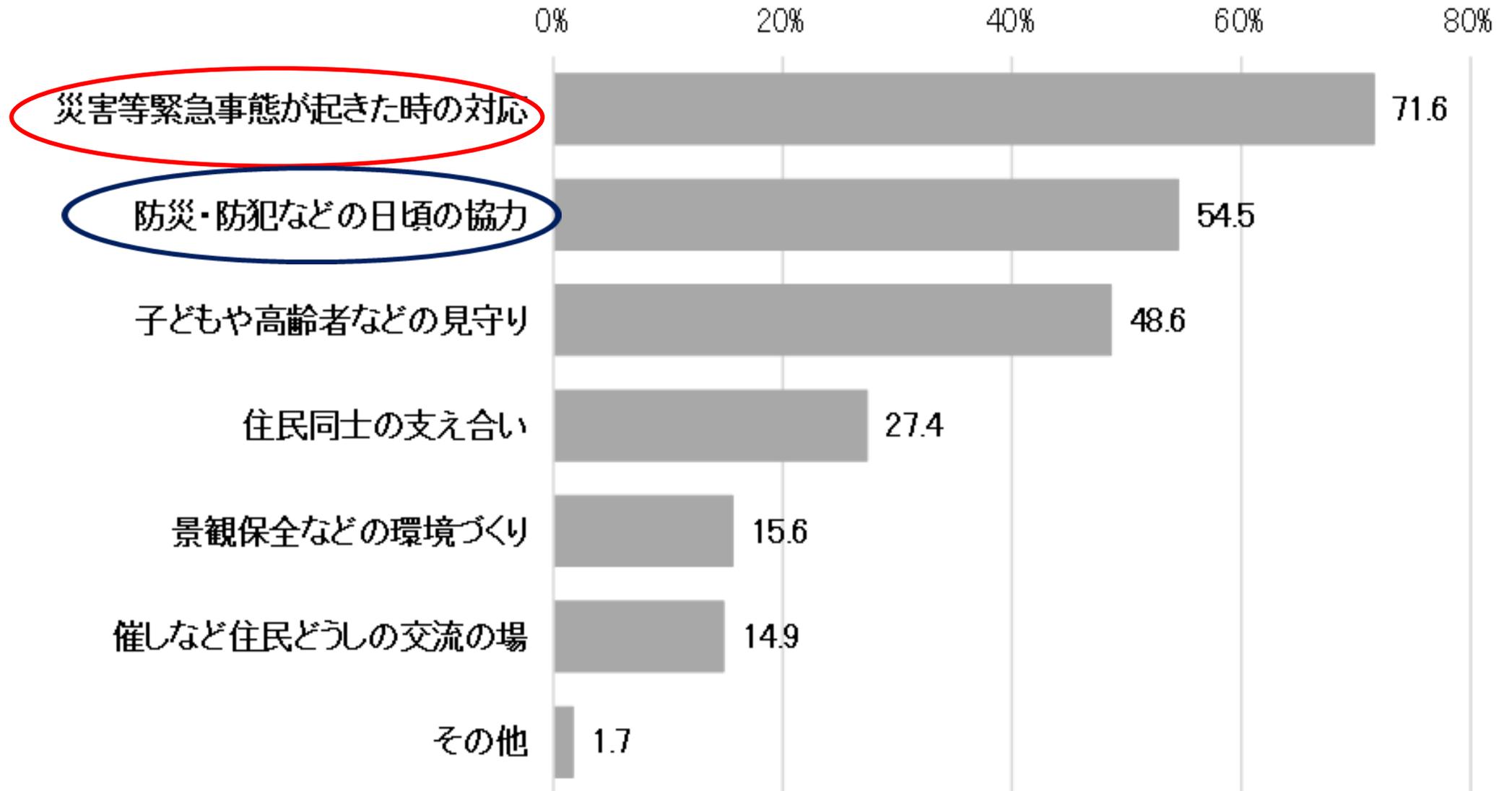
問15 今後、あなたの住んでいる地域がどのような地域になればよいと思いますか。



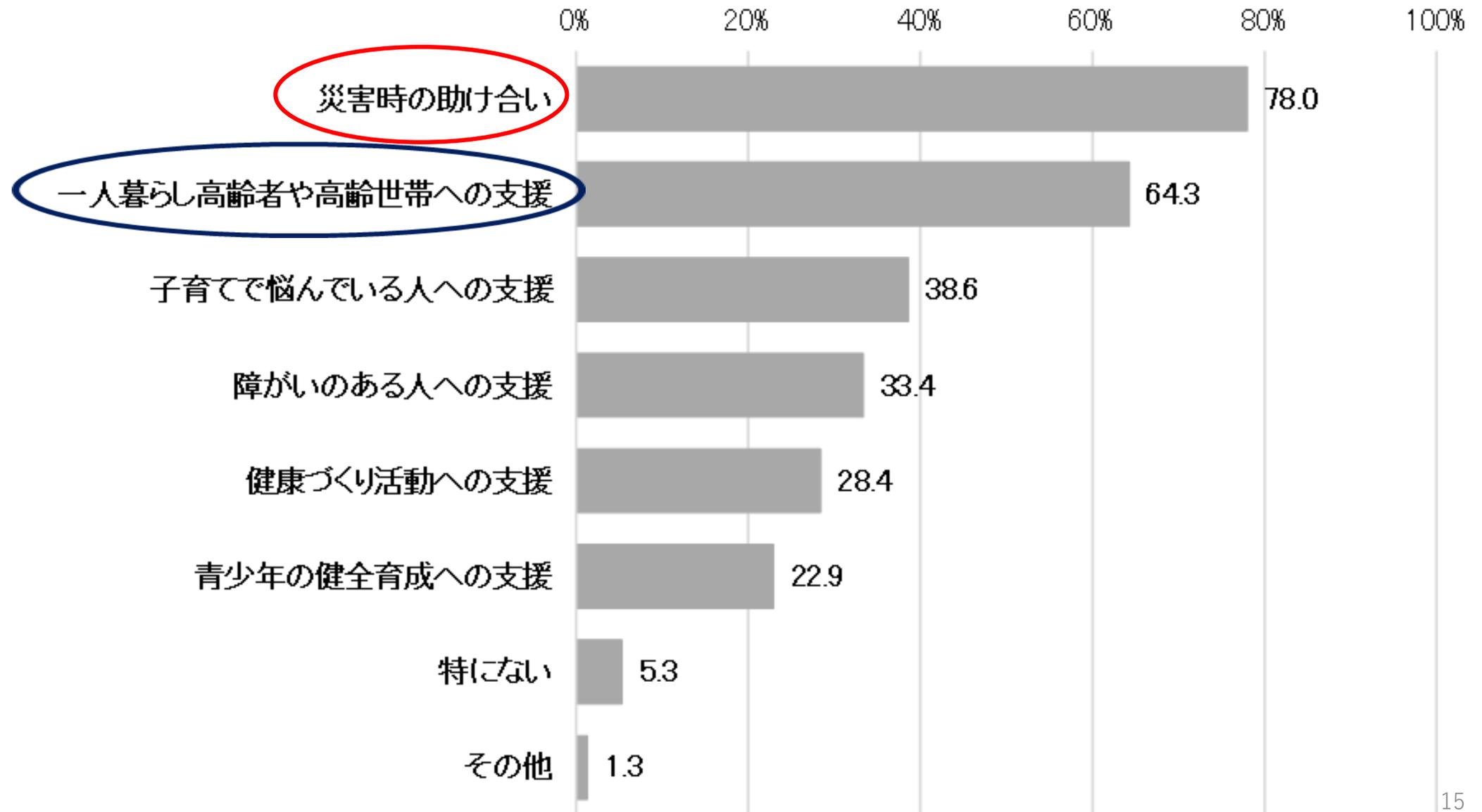
○居住地区別には最多回答割合の内容に若干差異がみられる。

旧市内	「災害時に助け合える地域」(36.2%)
浜田地区	「若い世代にとって魅力のある地域」(38.2%)
西袋地区	「災害時に助け合える地域」(47.8%)
稲田地区	「若い世代にとって魅力のある地域」(43.6%)
小塩江地区	「若い世代にとって魅力のある地域」(36.4%)
仁井田地区	「災害時に助け合える地域」(46.4%)
大東地区	「お金のかからない住みやすい地域」(50.8%)
長沼地区	「お金のかからない住みやすい地域」(37.3%)
岩瀬地区	「福祉サービスが充実した地域」(45.5%)

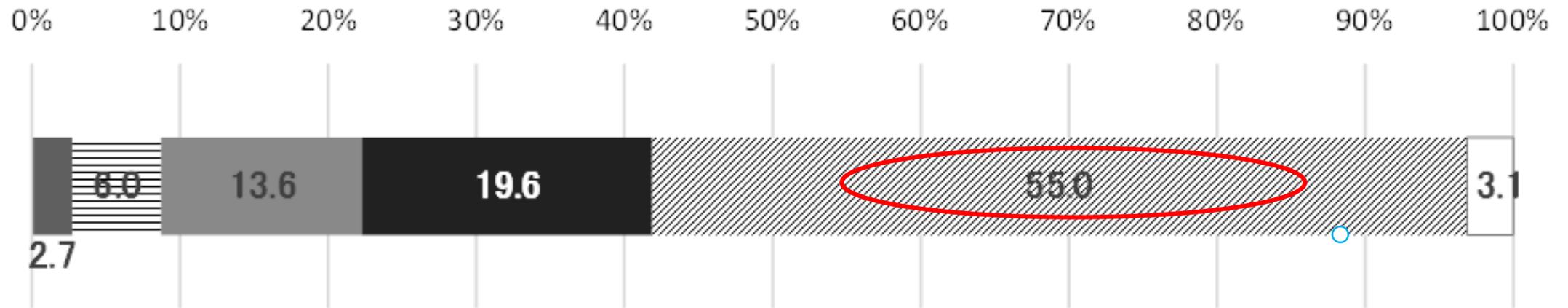
問 16 地域社会の役割について、どのようなことを期待しますか。



問18 あなたは、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが特に必要な問題とは、どのようなことだと思いますか。



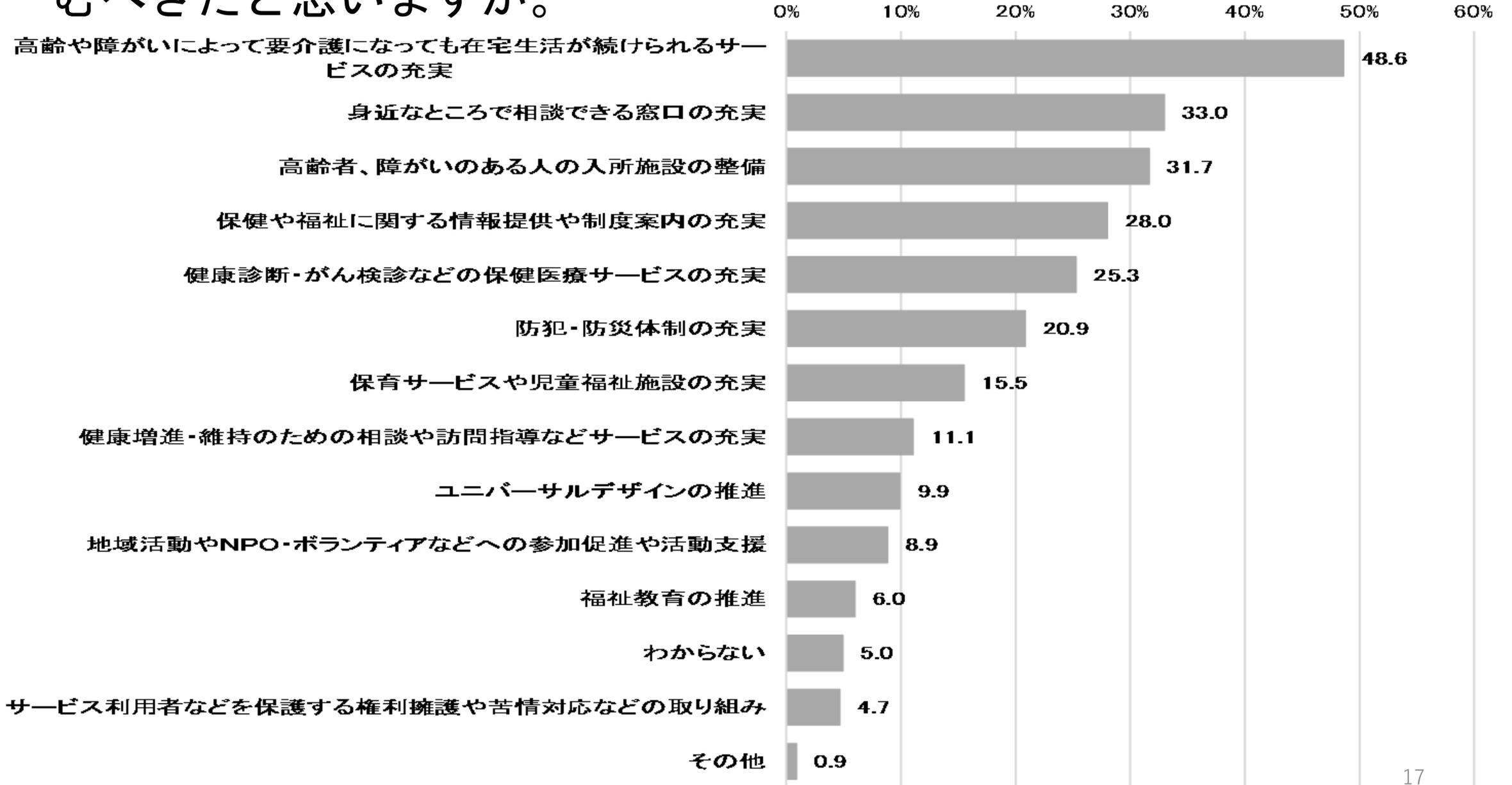
問19 あなたはボランティア活動等に参加していますか。



- 現在、週1回以上参加している
- ≡ 現在、月1回以上参加している
- 現在、年に1~数回参加している
- 1年以上参加していないが、以前に参加したことがある
- ▨ 参加したことがない
- 無回答

体力的に難しい
時間がない
自分の趣味等を優先したい

問27 今後、地域での福祉を進めるために市はどのような施策に取り組むべきだと思いますか。



地域福祉に関する アンケート調査結果 概要

(民生委員・児童委員対象分)

1 調査対象

- ◇ 地域福祉に関わる活動を行っている民生委員

2 調査方法

- ◇ 郵送配布・回収及びヒアリング形式による収集

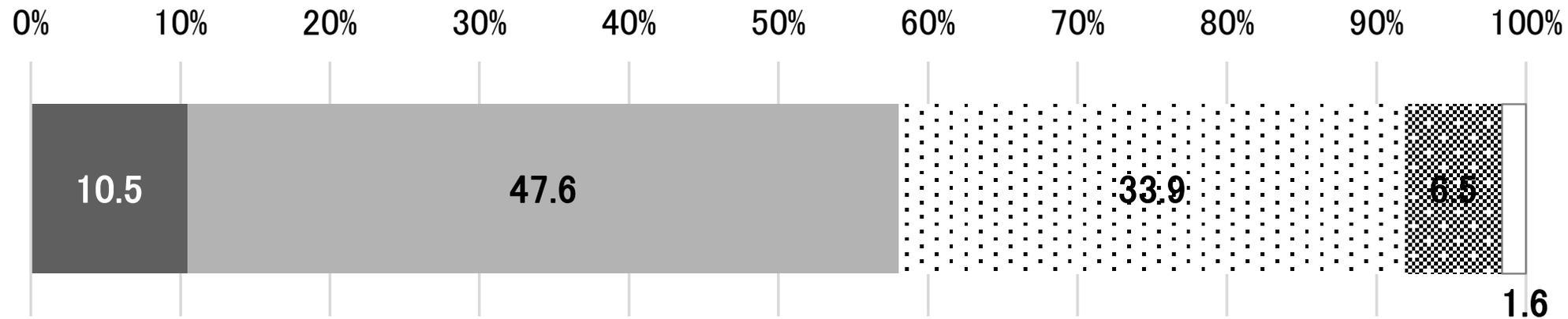
3 調査実施

- ◇ 配布日 令和5年6月15日 回収期限 令和5年7月26日

4 回収結果

- ◇ 配布数 160人
- ◇ 回収数 124人
- ◇ 回収率 77.5%

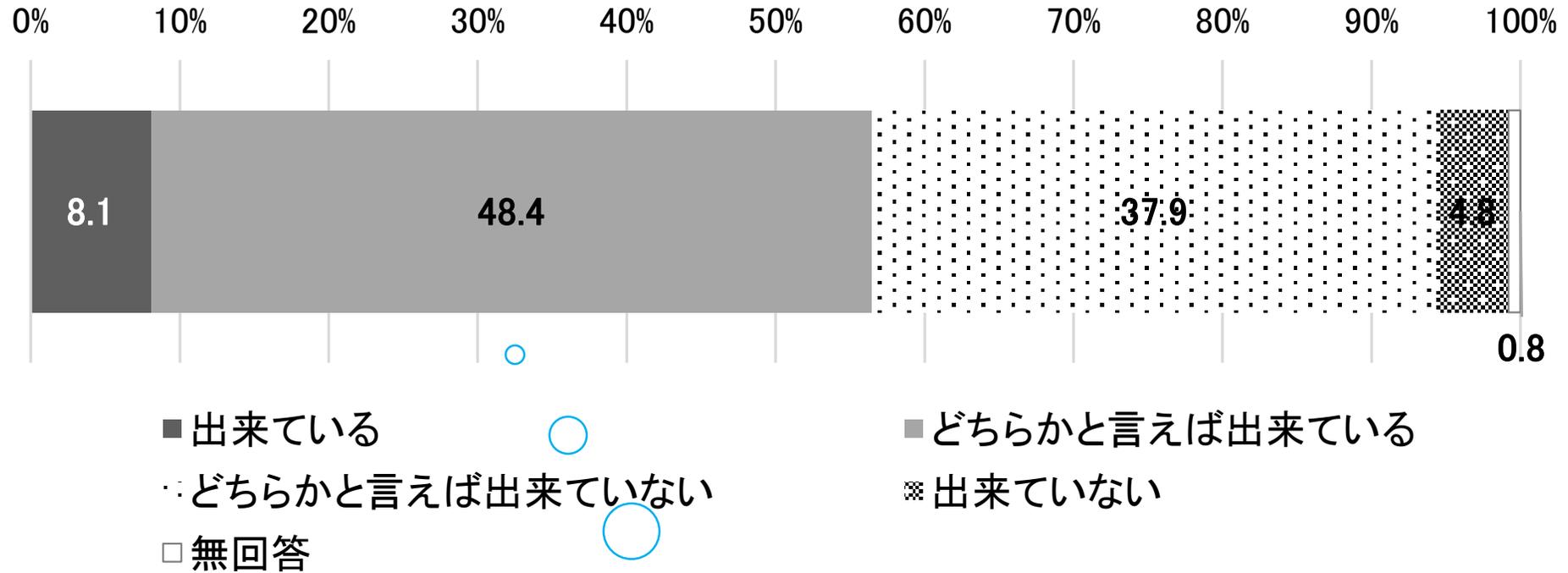
問3 須賀川市では、福祉に関する相談・支援体制が充実し、子どもや高齢者、障がい者など全ての人々が地域において支え合いながら暮らす「ともに支え合う福祉社会」が形成できていると思いますか



■ そう思う ■ どちらかといえばそう思う ■ どちらかといえばそう思わない ※ そう思わない □ 無回答

「そう思う」 + 「どちらかといえば思う」 = 58.1%

問5 あなたの居住する地域において、地域の誰もが生き生きと安心して暮らせるよう、住民同士の支え合いのまちづくりが出来ていると思いますか



「出来ている」 + 「どちらかと言えば出来ている」
= 56.5%

問7 地域において支え合いながら暮らしていくために、あなたの地域ではどのような取組が必要だと思いますか（複数回答）

